

2022 年度 第 14 回札幌地区カブスリーグ U-15 開催要項

2022. 4. 20 訂正

- | | | |
|---|------------|--|
| 1 | 名 称 | 2022 年度第 14 回札幌地区カブスリーグ U-15 |
| 2 | 主 催 | 一般社団法人札幌地区サッカー協会 |
| 3 | 主 管 | 一般社団法人札幌地区サッカー協会第 3 種委員会 |
| 4 | 後 援 | 札幌市 一般財団法人札幌市スポーツ協会 |
| 5 | 期 日 | 2022 年 5 月 14 日(土)～9 月 25 日(日) ※別紙開催日程参照 |
| 6 | 会 場 | 登録チームグラウンド他 ※別紙開催日程参照 |
| 7 | 参加資格 | (1) 本大会参加申込締切日までに(公財)日本サッカー協会に第 3 種または女子登録した加盟チームであること。
(2) (1)項のチームに登録された選手であること。ただし、学齢の異なる選手が参加を希望する場合、本リーグ参加申込締切日までに、(一社)札幌地区サッカー協会第 3 種委員長に申し出ること。
(3) (公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内のチーム間であれば移籍手続を行うことなく本大会に参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第 4 種年代のみとし、同一クラブ内の第 4 種複数のチームから選手を参加させることも可能とする。第 3 種およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
(4) 中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ(公財)日本サッカー協会の女子加盟チーム選手を移籍手続を行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。
(5) 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。ただし、11 名以上の選手を有するチーム同士の合同は不可とする。なお、(公財)北海道サッカー協会第 3 種委員会「合同チーム」編成時における確認と規程」(2021 年 2 月 23 日制定)により、これらの条件が緩和される場合がある。 <ul style="list-style-type: none">・ 合同するチーム及び選手はそれぞれ(1)および(2)項を満たしていること。・ 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。・ 大会参加の申込手続は、それぞれのチーム代表者が協議の上、代表チームが行う。・ 合同チームとしての参加を(一社)札幌地区サッカー協会 3 種委員長が別途了承すること。・ 合同するチームはいずれかのチームが所属するリーグに所属することができる。また、合同を解消する場合はいずれかの 1 チームについては昇降格の権利を含め、所属するリーグに留まることができるが、それ以外のチームについては地区カブス 2 部所属とする。
(6) 第 16 回北海道カブスリーグ U-15、第 14 回札幌ブロックカブスリーグ U-15、第 6 回札幌地区カブスリーグ U-13 とチームの同時出場を可能とする。ただし、引率・帯同審判の条件を満たすこと。
(7) 複数チームの出場を可能とする。ただし、引率・帯同審判の条件を満たすこと。 |
| 8 | 参加チーム及びその数 | 本大会に出場を希望するチーム。クラブチームはA～Dグループのいずれかに組み入れる。チーム数は未定。 |
| 9 | 競技方法 | (1) A～Dグループ内で、前年度の戦績をもとに 1 部・2 部 A・2 部 B のリーグ構成を基本とする。 <ul style="list-style-type: none">・ 1 部リーグは、10 チーム程度のチーム数による 1 回戦制のリーグ戦とする。・ 2 部リーグは、1 部所属チーム以外のチームを 2 リーグに分けて 1 回戦制のリーグ戦を行うことを基本とするが、試合数が極端に少なくなる場合については 1.5 回戦制もしくは 2 回戦制で行う場合もある。
(2) 試合時間は 60 分(30 分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則として 5 分とする。
(3) 順位の決定は次の順序により決定する。 |

- ①勝点(勝3点、引分1点、負0点) ②ゴールディフェレンス ③総得点
④当該チームの対戦成績(勝敗) ⑤同総得点 ⑥抽選
- 10 競技規則 大会実施年度の(公財)日本サッカー協会競技規則による。ただし以下の項目について本大会規定を定める。
- (1) 協会登録選手の中から選手を登録できる。人数の上限は設けない。第16回北海道カブスリーグU-15、第14回札幌ブロックカブスリーグU-15と同時に参加するチーム、本大会に複数チーム出場するチームにおいては、試合の都度、上位チームのプロテクト選手(フィールドプレーヤー10名)に留意のこと。また、第6回札幌地区カブスリーグU-13とは、重複した選手登録を認める。
 - (2) 選手交代は競技開始前に登録した最大9名の交代要員の中から最大9名までとする。「自由な交代」を採用する。
 - (3) ベンチ入りできる人員は14名(チーム役員5名、選手9名)を上限とする。
 - (4) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会のリスぺクト・フェアプレー委員会において決定する。ただし、この規定は全ての競技会に適用する。
 - (5) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。ただし、この規定は本大会のみの適用とする。
- 11 参加申込 参加チームは、以下の手続きを期日までに完了すること。
- (1) ・参加申込書の提出
・日程会場調査用紙の提出
ダウンロード先:<http://www.sfa-net.jp/>
※選手登録用紙は5月9日(月)までにグループ担当者へ提出すること。
 - (2) 大会参加料 24,000(チーム数によって変更の可能性もあります)
※グループごとの監督会議で納入のこと
 - (3) 参加申込締切 2022年4月15日(金)18時
申込先 E-mailアドレスは「日程会場調査用紙」参照
A:原谷氏(発寒中) B:鱧淵氏(栄町中)
C:新保氏(北白石中) D:松本氏(清田中)
- 12 プロテクト追加登録 道カブス・ブロックカブスと同時に出場しているチームは、本リーグの試合前日までの、道カブス・ブロックカブス出場時間上位10名のフィールドプレーヤーは、プロテクト選手とし、出場はできない。また、ゴールキーパーを含め、プロテクト選手外でも、他リーグと本リーグとに連日または同日に出場することはできない。登録移動ウィンドーは設けない。なお、この上位2リーグに登録している選手は本リーグに登録できず、シーズンを通じて「プロテクト」対象となり得る。選手の追加登録は所定の用紙を使い、手続を行うこと。申請先は、参加申込先に同じ。また、選手の移籍に伴う追加登録については、移籍手続を完了してから行うこと。追加登録の申請締切は各節3日前17:00とする。
- 13 ユニフォーム
- (1) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)は正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申込の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK 用共)。
 - (2) 審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。
 - (3) ユニフォームの色・背番号の参加申込以降の変更は認めない。
 - (4) シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号を付けること。
 - (5) その他については、(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程によるが、以下の内容については、従来のユニフォーム規程を緩和する。
 - ・ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
 - ・アンダーシャツ、アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用することが望ましい。
 - ・ユニフォームのモデルチェンジ等で、ラインやメーカーロゴの有無またはその大きさや位置、襟の形状などにおける微細な相違が認められるユニフォ

ームを着用する選手が混在する場合は、その相違のすべてが解る写真データを、監督会議 3 日前までに、実行委員長宛送信すること。監督会議において、出場チームがその情報を共有することで、その混在を認めるが、新旧ユニフォームが完全に同色であること。

- 14 帯同審判員 本大会は相互審判で行う。参加チームは(公財)日本サッカー協会認定審判員(4 級以上)2 名を必ず帯同させること(監督・コーチも可、ユース審判 2 名のみは不可)。また帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込用紙(選手登録用紙)に記載すること。1 名はユース審判で可とする。
- 15 表彰
16 監督会議 各グループ 1 部リーグ 1 位・2 位のチームに賞状を与え表彰する。
未定(日時・会場は後日グループ担当者より連絡するものとする)
開会式を兼ねる(閉会式は行わない)。
- 17 負傷及び事故の責任 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うこととする。また、医師及び救急用品の準備は各チームの責任において行う。
- 18 参加チームの昇降格 (1) 地区カブス 1 部リーグの優勝チームはブロックカブス 2 部へ自動昇格をする。
(2) 地区カブス 2 部リーグの優勝チームは地区カブス 1 部へ自動昇格をする。2 位のチーム同士でプレーオフを行い地区カブス 1 部への昇格の権利の優先順位を決定する。(地区カブス 2 部リーグが 1 リーグ編成の場合は上位 2 チームを自動昇格とし、3 リーグ編成の場合は各リーグの優勝チームのみを自動昇格とする。)
(3) 地区カブス 1 部リーグの下位 4 チームは地区カブス 2 部リーグへ自動降格をする。
(4) 新型コロナウイルス感染症の感染・拡大防止のため、本リーグ戦の長期中断、中止となった場合、昇降格の方法について、実行委員会で協議し決定する。
- 19 その他 (1) 出場チームは(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の確認できるものであること。
*選手証とは、(公財)日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。選手証は、試合前にエントリー用紙と同時に大会本部に提出すること。
(2) 本大会においてリスペクト・フェアプレー委員会を組織し、委員長は(一社)札幌地区サッカー協会 3 種委員長が務める。委員の人選については委員長に一任する。
(3) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
(4) 大会要項に規定されていない事項についてはリスペクト・フェアプレー委員会において協議、決定する。
(5) 参加選手は、傷害保険に加入し、大会での傷害に対応すること。
(6) 参加申込用紙等に記載されている個人情報、大会運営の目的のためにのみ使用し、第三者に提供しない。また、個人情報は厳重に管理し、大会終了後、責任を持って破棄する。
(7) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合はリーグ実行委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。ただし、試合開始後、荒天またはその他の理由により、試合が中止または中断した場合は、以下の通りとする。
・ 定刻に試合が開始できない、または、試合が中断した場合は、15 分間を限度に待機し、試合の開始・再開または中止を、主審とホームチーム運営責任者が協議のうえ決定する。
・ 試合開始ができなかった場合、または前半を終了することができなかった場合、当該試合は不成立とし、後日の再試合とする。前半途中で中断し再開できなかった場合、その時点での得点はすべて無効となる。
・ 前半途中で中断し試合を再開できなかった場合、中断前に警告、退場、退席処分等があった場合は、そのすべてを有効とする。

20 新型コロナウイルス感染症対策

- (8) チーム関係者に新型コロナウイルス感染症の感染者が出た場合は、2週間当該チームの出場を自粛、管轄保健所等の指示に従う。
- (9) 当該チームを含めて、消化試合数が他チームよりも少ないチームのすべてが昇格または降格になる可能性がなかった場合は、消化試合数に差があっても、勝点等はそのままで順位を決定する。また、当該チームを含めて、消化試合数が他チームよりも少ないチームが1チームでも昇格または降格になる可能性があった場合は、勝点平均(勝点÷消化試合数)で決定する。また、勝点平均が並んだ場合は、ゴールディファレンス平均、得点平均の順で順位決定をする。
- (10) 指導者が選手を引率する際の遵守事項
 - ・ 選手の個々の権利、尊厳及び価値を尊重し、平等に扱うこと。
 - ・ 選手の権利及び安全を最優先で扱うこと。
 - ・ 身体に対する暴力行為を行わないこと。
 - ・ 不適切な言葉を使用しないこと。
 - ・ 身体に対する暴力行為や不適切な言葉の使用を放置しないこと。
 - ・ MWO(マッチウェルフェアオフィサー)が、試合の前後または試合中に、指導者へ上記事項の遵守をうながすことがあるので留意のこと。
- (1) 本大会実施にあたっては、(公財)北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」最新版を遵守し、関係者はチェックシートを都度会場運営担当者に提出することとする。ガイドラインにおいて、チェックシート提出義務が不要となった際は、その通りとする。
- (2) 監督は大会期間を通じて感染対策担当者を務める。感染対策責任者は実行委員長が務め、会場感染対策責任者は第3種委員長と会場運営担当者が務める。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、会場感染対策責任者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。ガイドラインにおいて、これらの担当者や責任者の擁立が不要となった際には、その通りとする。